

水環境に係る調査内容

水環境に係る調査は、水質調査、水底の泥土調査、水利用調査および気象・水象調査を行います。

■水質調査（塩分、水温、富栄養化、溶存酸素、土砂による水の濁り）

水質調査は、月1回の採水・分析調査（38地点）と自動監視装置による水質連続測定（7地点）を行います。また、流入河川では負荷量調査を行います。

○水質の調査項目

| 環境要素 | 調査項目 |
|-----------|--|
| 塩分 | 塩分、水温 |
| 水温 | 水温 |
| 富栄養化 | 化学的酸素要求量、窒素化合物、リン化合物 クロロフィルa、溶存酸素量、プランクトン |
| 溶存酸素 | 溶存酸素量 |
| 土砂による水の濁り | 浮遊物質量、濁度、粒度組成 |

■水底の泥土調査（水底の泥土）

○水底の泥土の調査方法

| 調査区分 | 調査地点 | 調査頻度 |
|-----------|----------------------------------|--------------------|
| 採泥・分析調査 | 宍道湖、大橋川、中海、境水道：20地点 | 年1回 |
| メッシュ調査 | 中海・宍道湖湖内の1km四方に1地点 | 年20地点程度 (各地点1回) |
| 堆積物粒度調査 | 大橋川、剣先川、朝酌川：500m間隔程度 | 1回 |
| 改修後掘削面の調査 | 大橋川：上流部、中流部、下流部 剣先川：縦断方向4地点程度 | 1回 |

堆積物粒度調査および改修後掘削面調査の調査地点は、生物に係る調査内容を踏まえて正確な位置を決定します。

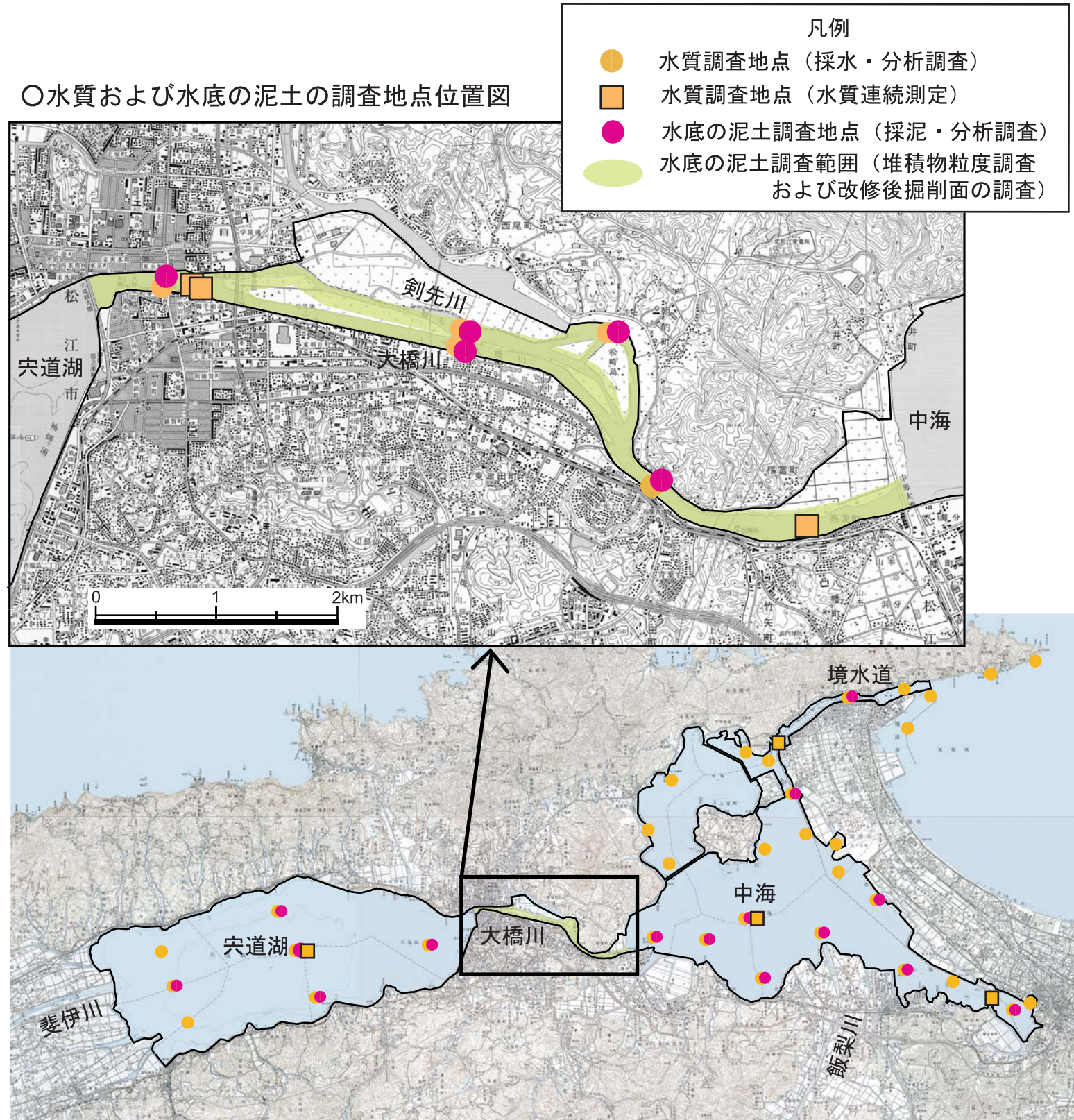
■水利用調査（水利用）

水利用や地下水の状況について、調査・予測範囲周辺を含め、文献・その他の資料による調査及び現地調査を実施します。

■気象・水象調査（気温・風速・湿度・雲量・日射量・降水量、流量・水位）

気象調査は、気温・風速・湿度・雲量・日射量・降水量について、宍道湖大橋川流域（21地点）、中海境水道流域（7地点）と湖内（宍道湖1地点、中海2地点）において行います。

水象調査は、流量・水位について、宍道湖、大橋川、中海、境水道の集水区域の水位流量観測所（8地点）と湖内の流動観測所（4地点）および水位観測所（14地点）において行います。



※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図および5万分1地形図を複製し、測量法第29条に基づく複製承認『平17中複 第16号』『平17中複 第17号』を転載したものである。